

特別コンサート

前橋汀子

ヴァイオリン・リサイタル

Maehashi Teiko Violin Recital

〈プログラム〉

ブラームス

ヴァイオリン・ソナタ第3番 ニ短調 op.108

ハンガリー舞曲 第1番

ハンガリー舞曲 第5番

ドヴォルザーク (クライスラー編)

我が母の教え給いし歌 op. 55-4

スラヴ舞曲 op.72-2

ユーモレスク op.101-7

ファリャ (クライスラー編)

スペイン舞曲 (歌劇『はかなき人生』より)

サン＝サーンス

序奏とロンド・カプリチオーソ op.28

ショパン (サラサーテ編) ノクターン op.9-2

サラサーテ ツィゴイネルワイゼン op.20

ドビュッシー 亜麻色の髪の乙女

マスネ タイスの瞑想曲

フォーレ 夢のあとに

※プログラムは当日の演奏順
とは異なります

津田裕也
(ピアノ)

©Christine Fiedler

芳醇と評される前橋の円熟の現在地を聴く

前橋汀子
(ヴァイオリン)

©岡本隆史

2025年10月26日(日) 14:00開演 (13:30開場)

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール

〔チケット料金〕 一般 5,500 (4,950) 円 青少年 (24歳以下) 2,200円 [全席指定・税込] ※ () 内はびわ湖ホール友の会会員料金

〔チケット発売日〕 ●一般発売 7月27日(日) 10:00～ ●友の会優先発売 7月25日(金) 10:00～ <ネットチケット・電話受付のみ>

〔お問い合わせ〕 びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136 (10:00～19:00/火曜日休館、休日の場合は翌日、8/12～8/17休館)

<https://www.biwako-hall.or.jp/>

特別コンサート 前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル

日本のヴァイオリン界を走り続けたレジェンドが、昨年初めて長期間の活動休止をし、再び精力的に活動を始めた。びわ湖ホールには3年ぶりの登場。プログラムの柱は、師シゲティから受け継いで自ら傾倒し、今も飽くなき探求を続けているブラームス。もうひとつの柱は長らく慈しんできた珠玉の小品たち。本人曰く「小品は余計なものをそぎ落とした後に残る本質」。芳醇と評される前橋の演奏が、長い休止を経てどのように変化したのか円熟の現在地を聴く。



前橋 汀子 (ヴァイオリン) Maehashi Teiko, Violin

日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味に溢れる演奏で、多くの聴衆を魅了してやまない。5歳から小野アンナにヴァイオリンを学び、その後、桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校で斎藤秀雄、ジャンヌ・イスナールに師事。17歳で旧ソ連国立レニングラード音楽院(現サンクトペテルブルク音楽院)日本人初の留学生に選ばれ、ミハイル・ヴァイマンのもとで学んだ。その後、ニューヨーク・ジュリアード音楽院でロバート・マン、ドロシー・ディレイ、スイスでヨーゼフ・シゲティ、ナタン・ミルシテインの薫陶を受けた。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・フィル、フランス国立管などの名楽団、メータ、ロストロポーヴィチ、小澤征爾など世界の一線で活躍するアーティストとの共演を重ねている。近年、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを全国各地で展開。一方、J.S.バッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」、ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ」、ブラームス「ヴァイオリン・ソナタ」などにも意欲的に取り組んでいる。また、最新録音として、ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ全集」のCDが2025年2月にソニーミュージックより発売。著書『私のヴァイオリン 前橋汀子回想録』が早川書房より、最新刊『ヴァイオリニストの第五楽章』が日本経済新聞出版より出版されている。これまでに日本芸術院賞、第37回エクソモビル(現・ENEOS音楽賞)音楽賞洋楽部門本賞受賞。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・ガエルネリウス。



津田 裕也 (ピアノ) Tsuda Yuya, Piano

1982年仙台市生まれ。東京藝術大学、同大学院修士課程を経て、ベルリン芸術大学で学ぶ。2007年仙台国際音楽コンクールにて第1位、および聴衆賞、駐日フランス大使賞を受賞。2011年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞。ソリストとしてベルリン交響楽団、ドイツ室内管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団他、国内外のオーケストラと共演。室内楽活動にも積極的で、多くの著名な音楽家と共演を重ねる。東京・春・音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、武生国際音楽祭、木曽音楽祭などには定期的に招かれている。2003年には、白井圭(vn)、門脇大樹(vc)と『トリオ・アコード』を結成し、その演奏は国内各地で称賛を浴びている。CDはフォンテックから『メンデルスゾーン ピアノ作品集』、トリオ・アコードとして『ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲第5番、第6番』、『メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第1番、第2番』をリリースし、いずれも高い評価を得ている。

《チケット取り扱い》

びわ湖ホールチケットセンター TEL 077-523-7136
(10:00～19:00/火曜日休館、休日の場合は翌日、8/12～8/17休館)
インターネット受付 <https://www.biwako-hall.or.jp/>
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード293-633]
ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード56840]
e+(イープラス) <https://eplus.jp/> 【座席選択サービス有】

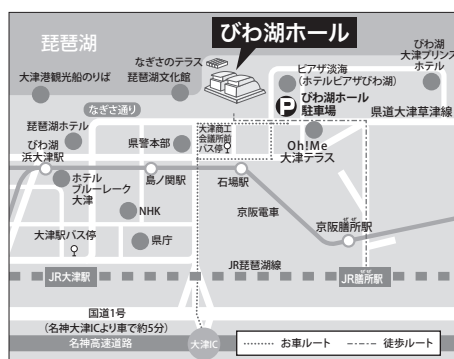


SNSでも最新情報が
確認できます。

びわ湖ホール

で検索!

※都合により、曲目等が変更になる場合があります。※6歳以上のお子さまからご入場いただけます。託児サービスがございます。詳細は下記をご覧ください。※びわ湖ホール友の会優先発売期間中の窓口販売はありません。※お申し込みいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。※チケットのお申し込み後、ご案内の期限内に所定の手続きをされなかった場合には、チケットの販売・引き渡しをお断りいたします。※テレコイル機能のついた補聴器や人工内耳を使用されている方は、テレコイルモードに切り替えるとヒアリングループを使用した音声をお楽しみいただけます。



【びわ湖ホールへの交通のご案内】

- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分
- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分

《駐車場のご案内》

有料849円 24時間営業

料金:4時間まで毎時210円

※詳細はびわ湖ホールホームページにて



託児サービスのご案内

- 対象 1歳以上、5歳以下
- 料金 1公演お子様おひとりにつき1,000円
- 開設時間 13:30～公演終了後30分まで
- 申込方法 2025年10月19日(日)までにびわ湖ホールチケットセンター(077-523-7136)にお申込みください。

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号

TEL.077-523-7133(代)

<https://www.biwako-hall.or.jp/>